

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第128号								
事故等名	貨物船第三十三新居浜丸乗揚								
発生年月日時刻	平成20年11月7日18時20分ごろ								
発生場所	名古屋港第3区新宝ふ頭Ⅰ－1岸壁から真西50m沖 (北緯35° 03' 27"、東経136° 53' 19")								
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月15日横浜・地方事故調査官が海難報告書を入力し、平成21年1月28日船舶国籍証書写、船舶検査手帳写を入力、2月26日船舶所有者から損傷状況等について口述聴取、3月24日、補修工事見積書写、プロペラ補修報告書写、プロペラ軸軸芯計測、船底部塗膜現状調査図、舵軸間隙測図を入力 原因関係者からの意見聴取:意見なし								
事実情報 船種・船名・総トン数 船舶番号 船舶所有者等	貨物船 第三十三新居浜丸 499トン 134852 住鋤物流株式会社								
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO 番号) 船舶所有者等									
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)								
負傷者	なし								
損傷	推進器欠損 ビルジキール損傷								
事故等の経過	本船は、船首2.25m、船尾3.70mの喫水で名古屋港新宝ふ頭Ⅰ－1岸壁を出港した。離岸後、同岸壁より真西約50m沖合において、平成20年11月7日18時20分ごろ、機関室船底付近から船体中央部船底にかけて軽い衝撃を感じた。 平成21年2月の定期検査で上架した際、推進器の欠損及びビルジキールが損傷していたのを発見し、修理した。 当時の天候は晴れで、風力3の北西風が吹いていた。								
分析	<table border="0"> <tr> <td>気象・海象の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>乗組員等の関与</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>船体・機関等の関与</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>判明した事項の解析</td> <td>本船は、離岸時の船位の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。</td> </tr> </table>	気象・海象の関与	なし	乗組員等の関与	あり	船体・機関等の関与	なし	判明した事項の解析	本船は、離岸時の船位の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。
気象・海象の関与	なし								
乗組員等の関与	あり								
船体・機関等の関与	なし								
判明した事項の解析	本船は、離岸時の船位の確認を適切に行わなかった可能性があると考えられる。								
原因	本事故は、本船が離岸して出港中、船位の確認を適切に行わなかったため、浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。								
その他の事項	なし								